

酒談義



札幌医科大学医師会
札幌医科大学医学部

堀 尾 嘉 幸

先日、ふと本屋に寄って文庫本の棚を見ていたら、本棚の下の平らになったスペースに3列分ぐらいにわたって本が平置きされていました。棚にきっちりとは並べられた本は、題名と作者の名だけが頼りですが、平に置かれた方はいろいろなデザインのカラフルな表紙が目に入ってきて、ついそちらに目が向きます。そんな本の中で、「酒談義」という吉田健一の本に目が留まりました。著者は、時々テレビでお目にかかる吉田類さんではなくて、吉田健一です。

吉田健一（1912-1977）は英文学者、翻訳家で随筆家。父親は吉田茂です。こんなに古い本がよくぞ目につく場所に置いてもらったものだと感心してしまいました。この本屋さんには目の付け所の違う書店員さんがおられるに違いないと思いきや、奥付をよく見てみますと、出版は平成29年4月となっていて、新しい本であることが判明しました。この本は以前に出版された本の中からいくつかを抜き出して、再構成したものでした。いわば焼き直しの新刊書という感じの本です。

首相を務めるような人を父親にした折には大変だったろうというのは、私の余計な個人的感想です。吉田茂は政治家になる前は外交官だったので、吉田健一は父親にくっついてあっちこっち外国で子ども時代を過ごしました。そのせいなのか、英文学者になった方です。英文学者も文学者の仲間に入るとは思うのですが、同時に吉田健一は和の文学にも強い志向を持っていて、数々のエッセイなどをものにして当時の文壇の面々と深い交流があったようです。

肝心のお酒の話です。吉田健一は日本酒党で、ほどよく爛された菊正を好みました。この本の中身は、なぜ酒を飲むかの蘊蓄を語り、日本酒は新橋のどこそこの濃いか、敗戦後、政府のせいで酒にアルコールを混ぜるようになってムチャクチャになったとか、ウイスキーは日本酒より劣るとか、いろいろと好き放題に書いています。ああだこうだと気ままなものですが、なんとなくその文章に引き込まれてしまいます。

本の中にどれぐらい酒が飲めるかを書いていて、「自分は目の前に空けたお銚子を並べるんだが、10本並ぶところまでは達しない、8本目に達する前に覚えがなくなる」「一度だけ、8本並んだことをしっかりと覚えていることがあったのだけれど、そ

のあとはまったく覚えていない」と書いています。お銚子1本が180mLとすると、10本で1.8L。一升酒です。お銚子1本で血中アルコール濃度0.02～0.04%になりますので、お銚子10本をいっぺんにがぶ飲みしたらならばその10倍。ネットに薬理学電子教科書（三木直正先生編集）というのがあります。そこには、「血中濃度、0.05%で症状が出始め、0.25%で中毒症状、0.5%で致死となる。大人では7-10g/時間で代謝される」とあります。一升酒だとかなりの血中濃度になります。吉田健一の本に書いてあることは客観的で、科学的に正しい。

さて、昔からアルコールへの見方は大きく分けると2つになります。一つは、お酒は偶然に見つかったものだったかもしれないが、アルコールは人類の発明の中で最も優れたもの。でかした、よくぞ見つけたものと褒めたい気分。アルコールを作る酵母にも感謝状を贈呈しなくては。

もう一方は、二日酔い、酒席の失敗、アルコール中毒など、お酒を飲むとロクなことがない。もしも、この世にお酒がなければもっといい世の中になって、お金もムダにせず、また、不幸になる人がとっとも減るだろうに。無駄以上に害になることこの上なし。もしぞこの世に酒がなかりせば、この世はどうなっていたか。

ところで、酒を飲むとなぜ酔っぱらうのか？ アルコールは中枢神経機能を抑制します。その作用は、最初は抑制系の神経活動が抑制され、このために興奮系が優位になって興奮症状が表れて、ちょっと賑やか元気になって気持ちよくなる。その後、興奮系ニューロンも抑制されて、中枢機能全般が抑制され、意識があやしくなって、もっと飲むと脳幹機能が抑制されて死につながると教えてもらいました。抑制性神経伝達物質にGABAというのがありますが、そのGABAを受け取る受容体GABA-A受容体にアルコールは結合して、GABAの作用を増強する。だから、抑制系優位に働くとなっています。

が、よく考えてみると、なぜ「最初に抑制系ニューロンがまず抑制を受ける」のか？ 単純にGABAニューロンの機能が高まれば、最初から興奮系ニューロンが抑えられても構わないのでは？ アルコールは本当のところはどうやって作用するのか。

結局、なぜ酔っぱらうか理屈がつかなくとも、気持ちよくなるんだからまあいいかと、酒飲みに加担する自分としては都合よく考えて、健康診断の後に必ず来る週二回の休肝日のお勧め通知も物ともせず、ついつい飲んでしまう日々を過ごしています。